学校番号	218

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「新編現代文Ｂ　改訂版」　（大修館書店）						
副教材等	「常用漢字　ダブルクリア　三訂版」　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生の「現代文Ｂ」では、１年次の「国語総合」よりも高度な内容の文章を読みます。１週間に３回授業があるので、じっくり深く読んでいきます。そして、社会に出たときに必要となる国語力を身につけていきましょう。
・さまざまな文章を読むことを通して、人間や社会の在り方について学び、自分自身の生き方について考えましょう。
・予習として、教科書の本文を読んでおく習慣をつけておきましょう。
・授業中は指名されていなくても、常に自ら言語で考えるようにして、主体的に学ぶ姿勢を持ちましょう。発言も積極的にしてください。
・文章の論理展開や表現技法にも注目して、自分が文章を書くときの参考にしましょう。
・辞書での意味調べ、漢字の小テストも継続して行い、語彙力の向上を目ざします。家庭学習も含めて、しっかり勉強しましょう。
・提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

・目的や場に応じて的確に聞き取り、効果的に話すことができる。
・相手の意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめることができる。
・文章を的確に、あるいは目的に応じて幅広く読んで、自分の考えを深め、発展させることができる。
・伝統的な言語文化および言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

評価方法	行動の観察 (授業中の発言や発表等) 記述の点検 (ノート・プリント等)	行動の観察 (授業中の発言や発表等)	記述の確認及び分析(プリント等) 定期考査	記述の確認及び分析(プリント等) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (テキスト・プリント等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期中間	随想	個人の認識と他者理解について考える。 教材: 「きっと叶いますよ」	○		◎		○	a:文章の内容を的確に読み取ろうとしている。 C: 感想や読み取ったことを踏まえ自分の意見を的確に表現できている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 C:記述の点検 e:定期考査
	随想	視野を広める。 教材:「『迷う』力の素晴らしさ」	○			◎	○	a:文章の内容を的確に捉えようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の筋道を的確に捉えている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査
1学期期末	小説	登場人物の心情や人物像をとらえ、「ざしきわらし」が象徴していることを読み取る。 教材:「ざしきわらし」	○			◎	○	a:文章に書かれている人物の心情を表現に即して読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、客観的に理解して読み深めようとしている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、点検 e:定期考査

	評論	日常使っている言葉を見つめなおす。 教材:「言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの」	○			○	◎	a:語句に注意を向けて、評論の読解に取り組もうとしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査
2学期中間	小説	主人公の生き方や人間の「弱さ」、運命について考える。また、格調高い漢文調を味わう。 教材:「山月記」	○		◎		○	a:漢文調の文章に親しみ、物語の世界観を味わおうとしている。 c:感想や自分の意見を的確に表現できている。 e:難解な語句を理解している。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認、点検 e:定期考査
	評論	生きものの生態や自然のあり方について考えを深める。 教材:「ゴリラの思いやり」	○			◎	○	a:文章の組立や骨組みを的確に捉えようとしている。 d:キーワードから文章の構成を理解し、筆者の意見を捉えている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査
2学期期末	随想	人間性に富んだ特色ある文章を楽しむ 教材:「祖母が笑うということ」	○	○		◎		a:文章の内容を的確に読み取ろうとしている。 b:文章のテーマについて自分の考えを述べたり、相対化したりして話し合っている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の筋道を的確に捉えている。	a:行動の観察、記述の点検 b:行動の観察 d:記述の確認、定期考査
	評論	現代におけることばと文化の関係について考える。 教材:「敬語への自覚、他者への自覚」	○			◎	○	a:文章の組立や骨組みを的確に捉えようとしている。 d:キーワードから文章の構成を理解し、筆者の意見を捉えている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査
3学期	小説	登場人物の心の動きを読み取る。 教材:「待合室」	○			◎	○	a:文章に書かれている人物の心情を表現に即して読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、客観的に理解して読み深めようとしている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査

	随想	古典文学に対する興味を広げる。 教材:「殺し文句は永遠に一恋する伊勢物語」	○			◎	○	a:文章の内容を的確に捉えようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の筋道を的確に捉えている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査
	評論	社会参画について考える。 教材:「政治の基本は民主主義」	○		○	◎	○	a:語句に注意を向けて、評論の読解に取り組もうとしている。 c:読み取ったことをもとに、自分の意見を的確に表現できている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認、点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

。